

宮津市

強い農水産業づくり支援事業

事業の概要

【事業の目的】

「宮津オリーブ」のブランド化のため、NPO法人設立（地域団体商標獲得）に向けた支援や、新規就農対策として新たな担い手確保に向けた農業体験の実施等、地域の受入体制整備を進めることで、農山漁村全体の活性化を図る。

併せて農林水産業の基盤整備の充実を図るため、地域が実施する水路等の整備支援を行うもの。



(オリーブフェスティバル)

(苗移植体験)

事業費（うち交付金充当額）

8,140千円（3,830千円）

事業の実施状況

■ 新たな担い手受入体制構築支援

農山漁村の新たな担い手の確保に向け、1泊2日の「農ある暮らし体験会」の実施や担い手確保に向けた話し合い・パンフレット作成等の地域の受入体制構築を支援。

【実施地区：4地区、体験内容：里芋収穫・そば作り・稲刈り等】

■ 宮津オリーブブランド化に向けた支援

オリーブのブランド化を進めるため、「宮津オリーブ生産者の会」が行う栽培技術の向上を目的とした研修会実施や周知のためのイベント開催・広報活動等を支援。

■ 地域による農業用施設等の整備に対する支援

営農に不可欠な農道整備、用水確保のため、農業者等が共同で直接行う農道、水路の改修等に対して支援。【実施地区：7地区】



(吉津地区紹介パンフレット)

事業の効果

- ・地域での「農ある暮らし体験会」の実施等により新たな担い手の受入体制構築が図られた。
- ・新規就農者数（R6実績：3名）
- ・オリーブ生産者の栽培技術等の向上を図るとともに、市内外でのイベントにて広報活動を実施し、知名度の向上を図った。また、地域団体商標獲得に向けたNPO法人設立準備世話役会を始動。
- ・地域が実施する農道・水路改修への補助を行うことで、農業生産基盤の保全が図られた。